

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 8 月 30 日 (2007.8.30)

【公開番号】特開 2001-335592 (P2001-335592A)

【公開日】平成 13 年 12 月 4 日 (2001.12.4)

【出願番号】特願 2000-137982 (P2000-137982)

【国際特許分類】

**C 0 7 H 19/073 (2006.01)**

**A 6 1 K 31/7068 (2006.01)**

**A 6 1 K 31/7076 (2006.01)**

**A 6 1 K 31/708 (2006.01)**

**A 6 1 P 31/18 (2006.01)**

**C 0 7 H 19/09 (2006.01)**

**C 0 7 H 19/173 (2006.01)**

【F I】

C 0 7 H 19/073

A 6 1 K 31/7068

A 6 1 K 31/7076

A 6 1 K 31/708

A 6 1 P 31/18

C 0 7 H 19/09

C 0 7 H 19/173

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 17 日 (2007.7.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

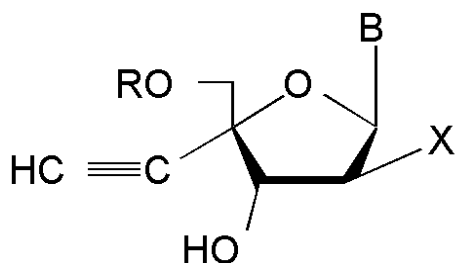
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 式 [ I ] で表される 4' - C - エチニルプリンヌクレオシド。

【化 1】



[ I ]

( 式中、B は、プリンもしくはその誘導体からなる群より選ばれた塩基を示し、X は水素原子または水酸基を示し、R は水素原子またはリン酸残基を示す。 )

【請求項 2】 B で表されるプリン誘導体が、ハロゲン原子、アルキル基、ハロアルキル基、アルケニル基、ハロアルケニル基、アルキニル基、アミノ基、アルキルアミノ基、水酸基、ヒドロキシアミノ基、アミノキシ基、アルコキシ基、メルカプト基、アルキルメルカプト基、アリール基、アリールオキシ基、及びシアノ基からなる群より選択された置換基を有するプリンである、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 3】 X が水素原子である、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 4】 X が水酸基である、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 5】 B がアデニン、グアニン、ヒポキサンチン、ジアミノプリンまたはその誘導体からなる群より選択されたものである、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 6】 B がアデニン、グアニン、ヒポキサンチン、ジアミノプリンまたはその誘導体からなる群より選択されたものであり、X が水素原子である、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 7】 B がアデニン、グアニン、ヒポキサンチン、ジアミノプリンまたはその誘導体からなる群より選択されたものであり、X が水酸基である、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 8】 4' - C - エチニル - 2' - デオキシアデノシンである、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 9】 4' - C - エチニル - 2' - デオキシグアノシンである、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 10】 4' - C - エチニル - 2' - デオキシイノシンである、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 11】 9 - ( 4 - C - エチニル - 2 - デオキシ - - D - リボ - ペントフラノシル ) - 2 , 6 - ジアミノプリンである、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 12】 9 - ( 4 - C - エチニル - - D - アラビノ - ペントフラノシル ) アデニンである、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 13】 請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の 4' - C - エチニルプリンヌクレオシドと薬学的に許容される担体とを含有してなる医薬組成物。

【請求項 14】 抗 HIV 剤である、請求項 13 記載の医薬組成物。

【請求項 15】 エイズ治療薬である、請求項 13 記載の医薬組成物。

【請求項 16】 請求項 1 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の 4' - C - エチニルプリンヌクレオシドの医薬製造のための使用。

【請求項 17】 医薬が、抗 HIV 剤である請求項 16 記載の使用。

【請求項 18】 医薬が、エイズ治療薬である請求項 16 記載の使用。